

武器をアートに

2025 年 第 2 回 平和創造 ワークショップ



参加無料・自由

2025. 6. 1. Sun

特別無料開館日

13 : 00 ~ 15 : 00

立命館大学国際平和ミュージアム 1F エントランスホール / 2F ピースコモンズ

プログラム

1st ステージ

13 : 00-13 : 10 武器アート 寄贈セレモニー

13 : 10-14 : 00 対談 武器をアートに

話者 Fiel dos Santos フィエル・ドス・サントス氏 (モザンビーク在住アーティスト)

竹内よし子氏 (NGO 法人四国グローバルネットワーク代表)

岡田若子氏 (立命館大学産業社会学部2回生)

司会 君島東彦 (立命館大学国際平和ミュージアム館長・国際関係学部教授)

使用言語 日本語 フィエル氏の英語は同時通訳します。

2nd ステージ

14 : 05-14 : 30 平和アートワークーアルミホイルで平和のカタチづくり!

先着 30 名 当日 10 : 30 より、1F 受付にて整理券を配布します。

3rd ステージ

14 : 40-15 : 00 ティンビラ演奏 (モザンビーク伝統楽器)

奏者 廣岡稜久氏 (愛媛大学工学部2回生)

主催・問い合わせ先

立命館大学国際平和ミュージアム

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899

<https://rwp-museum.jp/>



詳しくはこちら



立命館大学国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

PEACE×ART



本を読む人

国際平和ミュージアムの平和創造ワークショップは、平和を実現するためにできることについて、みなさん対話し考える場です。このたびは、武器アートをテーマに対話します。

また、身近にあるアルミホイルを使って自分の考える平和を形にする平和アートワークショップも開催します。後半は、特別ゲストによるモザンビークの伝統楽器ティンビラの演奏で盛り上がります。



竹内よし子氏

(NPO 法人四国グローバルネットワーク代表)

「武器アート」って何？

実際に使用され廃棄された武器でつくられたアート作品です。

アフリカに位置するモザンビークでは、1975年にポルトガルからの独立後、1992年まで16年間内戦状態でした。内戦終結後、市民の手に残された武器を市民自らが回収し、生活物資と交換し平和教育とともに武装解除を進める『銃を鋤へ』プロジェクトが開始されました。現地のNGOが中心となり、政府・警察・軍隊と協力しながら、市民が中心となって実現した平和構築プロジェクトです。そうして回収された武器の一部が、作家たちの手によって平和を考えるアート作品に生まれかわりました。

NPO 法人四国グローバルネットワークでは、松山市に働きかけ、2000年より松山市の放置自転車を武器との交換物資として送りはじめました。以来、長年にわたってモザンビークとの交流を続けています。



Fiel dos Santos フィエル・ドス・サントス氏
(モザンビーク在住アーティスト)



ティンビラと廣岡俊久氏（愛媛大学工学部2年生）



ギター演奏者

笛を吹く人



岡田若子氏（立命館大学産業社会学部2年生）

KINUGASA
ART VILLAGE
FESTIVAL

2025.6.1 sun
10:00-17:00



京都・衣笠周辺エリアおよび
立命館大学衣笠キャンパス

キャンパス
内企画 入場無料

衣笠アートヴィレッジフェスティバル

開館時間
9:30~16:30(入館は16:00まで)

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899



立命館大学国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

